

# フジアート



2015.06

Vol. 13

## 私とフジアートの人生いろいろ

こんにちは、フジアート株式会社 代表の渡邊富士雄です。  
いよいよ梅雨入りとなりました。雨が降ったり肌寒かったり、晴れたら暑くなったりと毎日が安定しません。熱中症になる方は真夏よりもこの時期に多いそうです。部屋の温度調整も難しいと思いますが、体調管理には気を付けて下さい。



この時期のお天気の特徴は、他の季節と違い、お天気が西から東へと移っていかないことです。天気予報でも、「梅雨前線の南下に伴い」とか、「梅雨前線の北上に伴い」という表現を聞いたことがあると思います。

梅雨は、北のほうにある冷たくて湿った空気のかたまり（オホーツク海高気圧）と、南のほうにある暖かくて湿った空気のかたまり（太平洋高気圧）とが、日本付近でぶつかり合うことによって雨を降らせるので、雨が北から近付いてきたり、南から降り始めたりするのです。

また、梅雨の雨の降り方が東西で違うのはご存知ですか？西はザーザーと集中的に降っては晴れる陽性型、東はシトシトと降ってぐずついた天気が続く陰性型です。これは梅雨前線のでき方や前線の位置が影響するためだそうです。

一般的に、梅雨入りは西の地方ほど早く、沖縄地方では5月のうちに入梅を宣言されます。そして、おおむね7月も終わりの、学生さんたちの夏休みのころになると、全国的に梅雨明け宣言されます。

こうした「梅雨入り」や「梅雨明け」の宣言が毎年話題になりますが、これは実はマスコミ用語のようなもので、明確な基準はないそうです。たしかに他の季節でも、例えば「桜が咲いたから、春」というような明確な「合図」があるわけではないのと同様に、梅雨というのも一つの季節と捉えられるもので、梅雨の始まりや終わりに明瞭な「サイン」があるわけではないですね。

雨が降ると、洗濯物は乾かないし、食べものは傷みやすいし、通勤時には服が濡れて困るし、車などの運転も大変です。気持ちも鬱々としがちです。けれど、この時期に雨が降らないと農作物は育ちません！そう思って雨にも感謝しましょう！！

ところで前回の私の写真、何か気付かれましたか？・・・一年ぶりにひげをそってみましたが、いかがでしょうか。

最近、目が疲れて眼性疲労ぎみなので、人生初の老眼鏡を作りました。視力検査ですと1.5なのですが、何しろ近くが見えません。少しお恥ずかしいのですが、今号は眼鏡を掛けている写真を載せてみました。

代表取締役 渡邊 富士雄



# 現場の風景

このコーナーでは印象的な現場の風景をご紹介します



現場監督

岡 俊秀

「DIYでも!？」 6月7日 天気：晴れ のち 曇り

今回は簡単にできる壁紙の補修を紹介したいと思います。補修でよく使うのがジョイントコークAです。画びょうやビス穴はコークを奥まで押し込み、余分にはみ出た分をスポンジやぞうきんでふき取ります。

入隅（コーナーの凹の部分）のすき間もジョイントコークを充填します。水で濡らした指先でならすときれいに仕上がります。

最後に入隅のシワを直す時は、壁紙をめくり、裏がわに霧吹きなどで水分を含ませて柔らかくします（くせのついたシワをとりやすくするため）。そしてジョイントコークを入れて、平らな板などで圧着し、上からもジョイントコークを充填して仕上げます。



↑  
入隅のすきま



↑  
入隅のシワ



# 色はメッセージ



リフォームアドバイザー

愛甲 幸子

先月までは日本の伝統文化を生活に生かす「室礼」をお伝えしてきましたが、今月からは、色についてお伝えしていきたいと思います。色が人に与える影響や効果を、意識してファッションやインテリアに取り入れることで、健康増進や目標の達成などにも活かすことができますよ。

では色とはなんでしょう。

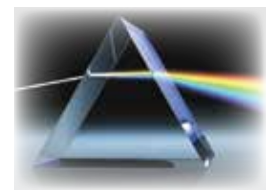
人が目で捉えている事象は、全て「光」によってもたらされています。

光には「波長」があって、その中でも人間に見えるものを「可視光線」と呼びます。

「物が見える」のは、光が当たっているからです、その中でも特定の波長だけを反射して、残りの波長を吸収する事で、見ているものはその波長に対する色に見えるのです。例えば、レモンが黄色いのは、黄色い光の波長を跳ね返し、それ以外の波長を吸収しているため人間の目には「黄色」に見えるのです。

可視光線である虹色は赤から始まり紫で終わりますが、これ以上の光が見えることはありません（赤の波長より長いものを赤外線、紫の波長より短いものを紫外線と言います）。

これをニュートンは、外から差し込む陽光をプリズムに通して虹色に分光することで証明しました。



余談ですが、私が小学生の頃、我が家は白黒テレビでした。だんだんとカラーテレビが出始めた頃で、学校で前夜の歌番組に出ていた歌手のドレスは何色だったかという話題に乗れず、

プリズムを目に当てて家のテレビを見ていたことがありました。

そうすると白黒テレビがきれいに見えたのを思い出します。



色は、身近すぎる存在であり、私たちに様々な影響を与えています。

今回は色がもたらすイメージについてお伝えします。

# 湘南サブナード

～歴史、地域性、特色、文化～



リフォームアドバイザー

坂本 勇

雨に紫陽花の花が鮮やかに映える季節となりましたが、お変わりございませんか。今回は皆さんご存知の、湘南の顔『江の島』についてお話しさせていただきます。

江の島は湘南地区を代表する景勝地で、古くから観光名所になっており、日本百景の地でもあります。ちなみに島の周囲は概ね4km、面積は東京ドームの約8個分に相当するそうです。島の人口はピーク時には1300人程（1955年）だったのが、現在では約360人と急減しています。観光地ならではのサービス業を中心とした第三次産業が圧倒的に多いのは間違いないでしょう。

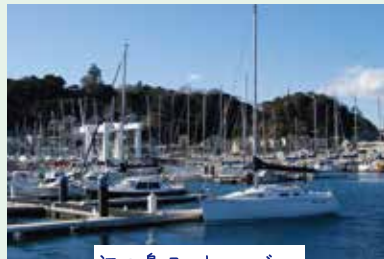
以前に地元の知人が、江の島は1964年の東京オリンピック開催時に整備されたのを機に、日本トップクラスのヨットハーバーとして活用され、一層のブランド力が着いたと言っていました。先日、2020年の東京オリンピックでも、江の島がセーリング会場となることが決まりました。約半世紀ぶりに世界のヨットが集まり、ますます世界中の人が江の島を訪れることとなりますね。「水がキレイ、風がいい、波がいい、富士山が見える景色もいい」ことが決め手だったのでしょうか！

そんな江の島に、ぜひ地元民として馳せ参じて見て下さい。名産名物料理を味わいながら、島内の景勝地を一つ一つ訪ねて見て回るのも良いですね。新たな意外な発見に出会えるかもしれませんよ。

あっそうそう、あまり気にしていなかったんですが、例えば表記には江の島や江ノ島、江島などがあり、どれが本当なのかを市役所に問い合わせたところ、住居表記上では『江の島』が正しいそうですよ。そんなことも島内で観察してみてもいいのではないでしょうか。



腰越海岸より（江の島・弁天橋）



江の島ヨットハーバー



島内の富士山スポットのひとつ

# 温故知新

The knowledge on your side



リフォームアドバイザー

冨家 春美

こんにちは。夏まで、あと少しですね。

先月号では戸当たりについてお話ししましたが今回は網戸について少しふれてみたいと思います。網戸の色は一般的にグレーが多いですが、実は種類があるんです。色が黒の場合は室内から外を、きれいに見通す事が出来ます。

また、外側が銀色で内側を黒にすると、外からは部屋の中が見えにくく部屋からは外がきれいに見えるという優れものもあります。張り替えをご検討されていらっしゃる方は、通りに面している窓の網戸に銀色を選択してみてもいいのではないでしょうか。ちょっとした目隠し効果があると思います。

『うちは小さい虫が多くて・・・』という方は、網の目にも種類があるので、目の小さいものを選ぶといいですよ。DIYで自分で張り替えをしてみようとお考えの方はメッシュの数字の大きい方が目が細かいので、チェックしてみてください。



# 日だまり✿ゆるりらいふ

家事がちょっと楽しくラクになる豆知識など、無理せずできる、心地よい生活へのヒントを主婦のつぶやきでお伝えします



スタッフ  
阿部 桃子

梅雨の季節到来ですね。ジメジメした気候が続く時期ですが、我が家の庭では紫陽花やイチゴが元気です。ミョウガの葉も伸びてきました。隅っこではどくだみの花も咲いています。私の手入れ不足から勝手に増殖している、いわば雑草ですが、よく見るとハート型の葉とコロンとした花で可愛い♪独特の香りには慣れませんが・・・



すみだの花火という品種です

沢山生えているのを見ていたら、子供の頃に祖母から「身体に良いんだよ!」と、どくだみ茶を飲まされていたのを思い出し、作ってみることにしました。

どくだみは漢方薬の一種でもあり、別名【十葉(じゅうやく)】。

デトックス効果もあるんですね。

葉になる雑草、和のハーブ・・・少し興味がわいてきました!

どくだみを適量刈り取り、よく水洗いした後、輪ゴムで束ねて軒下などで乾燥させます。

幸い晴天続きでしたので、5日もするとカラカラに乾燥しました。

はさみで切り、密閉容器で保存します。

(仕上げにフライパンで乾煎りしました)



淹れ方は日本茶や紅茶などと同様に急須やポットでいれるか、短時間煮出して作るのとこと、私は煮出してみました。

お味は・・・ほのかに甘みもあり、思いのほかくせも少なく感じ、子供の頃の苦手意識を克服!(^^)

他の茶葉とブレンドしても楽しめそうです。



## 編集後記



スタッフ  
三角 由香

今号でVol. 13となりました。昨年『フジハート』を創刊してから1年!

原稿締め切り前は、ネタに苦しむスタッフたちの顔を見て見ぬふりをしながら、追いかけてまわっています(笑) お客様にもっと楽しんでいただける情報誌になるように、そしてフジアートをもっと知っていただけるように、頑張りますのでこれからもどうぞよろしくお願いいたします。

さて今号から愛甲さん担当のコーナーが変わりました。みなさんはどんな色が好きですか? フジアートスタッフの好きな色を聞いて、好きな色による性格診断を調べてみました♪

社長:黄色... 即答でした! 知的好奇心が旺盛で、新しいもの好きだそうですよ。

佐々木さん:ペールブルー... 若さ、自由さを表わす色。明るい中にも冷静さを持っている人が多いとか。

愛甲さん:黄色... 社長と一緒にです! 朗らかで前向き、喋ることが得意で営業にむいているそうです!!

守家さん:水色... 本能よりも理性的な人が好む色。精神状態がクリアでサポート役に向く ←まさにデス

阿部さん:オレンジ... 明るく愛想が良い印象で、サービス精神旺盛。緊張感を和らげる人。

及川さん:ピンク... ロマンチストで優しい人。デリケートなところがあり、おしゃれさん。



わりとみなさん即答で、明るい色を選ぶ人が多いなあ、というのが印象的でした!

今月入社の方及川さん、勉強家でインテリアコーディネーターや1級リビングスタイリストなど、

インテリアに関する資格を多く持っているの、色にもこだわりがあるのでは・・・と思いますよ〜。

また改めて『フジハート』でもご紹介する機会があると思いますので、お楽しみに♡

